

—平成26年度決算状況—

つづいみち

阿南町 予算の使途(決算編)

平成26年度の決算が9月議会で認定されました。

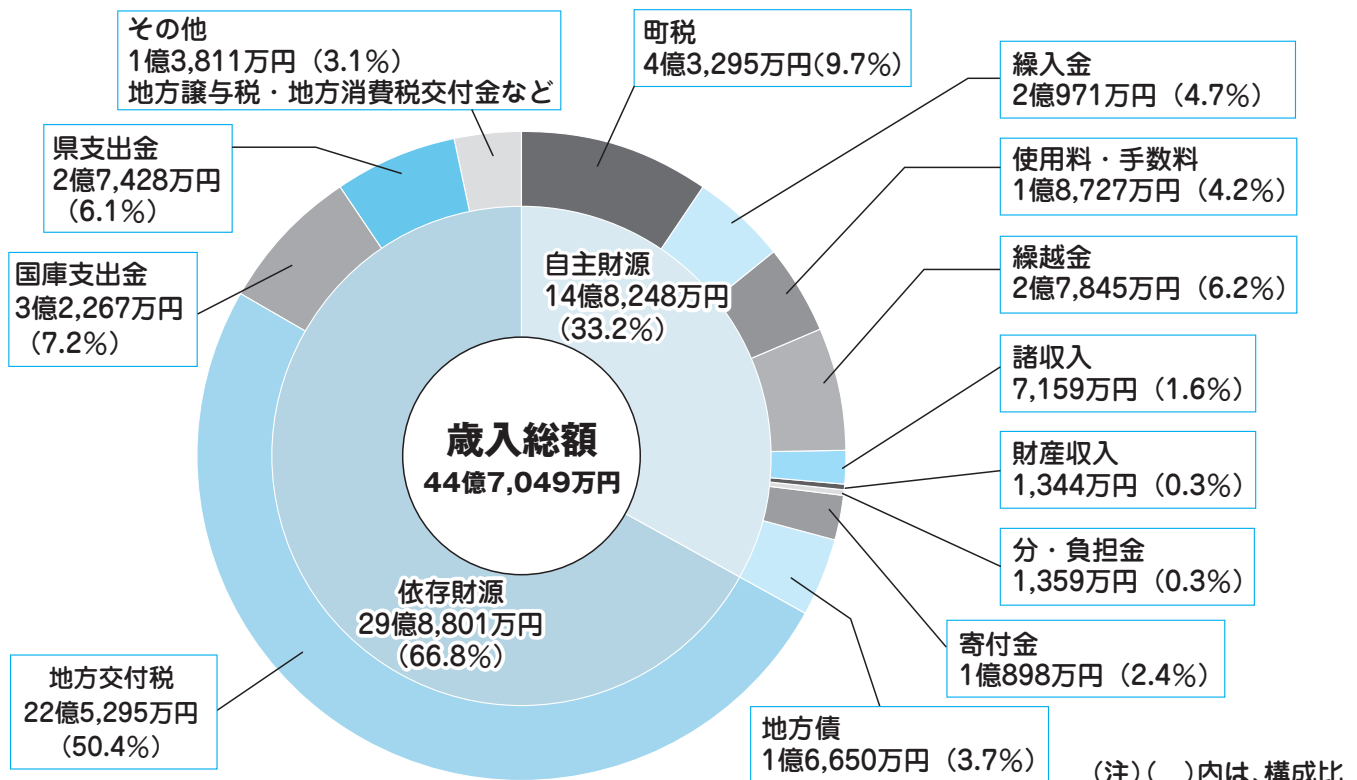
一般会計は歳入総額 44 億 7,049 万円で前年度比 17.9%の減、歳出総額 42 億 4,992 万円で同 17.7%の減となっています。歳入面、歳出面ともに、平成25年度において国庫補助金を利用した大規模な建設事業を行いました、平成26年度はなかったことにより国庫補助事業の減に伴い補助金の減が主な要因であります。

歳入面では、町税が昨年度より 2.1%増の 4 億 3,295 万円となったものの、歳入に占める割合は僅か 9.7%で依然として自主財源は乏しく国の施策や景気の変動等の外的要因に大きく左右されやすい状況が続いています。

歳出面においては、地域連携販売力強化施設あなん食彩館建設事業、ネスト新野Ⅲ住宅建設事業を行いました。また、前年度に引き続き、町内の景観整備事業や保育料軽減などの魅力ある地域づくりと生活環境の向上、少子高齢化対策を目指した諸事業の推進にも努めています。また、道整備交付金事業を活用し、従来からの道路整備など社会資本の整備充実のための諸事業の推進にも努めています。

一般会計の歳入の内訳

総 額 44億7,049万円



町税の内訳

町民税	個人	1億4,531万円
	法人	2,268万円
	小計	1億6,799万円
固定資産税	土地	4,070万円
	家屋	9,027万円
	償却資産	9,304万円
	交納付金	105万円
	小計	2億2,506万円
その他	たばこ税	2,140万円
	軽自動車税	1,437万円
	入湯税	413万円

◎ 自主財源とは… 町が独自に確保できる財源

◎ 依存財源とは… 国又は県に依存する形で確保される財源

平成26年度会計別決算額

会計名	歳入額	歳出額	差引(繰越金等)
一般会計	44億7,049万円	42億4,992万円	2億2,057万円
特別会計	国民健康保険事業	4億6,129万円	44万円
	介護保険事業	8億4,168万円	41万円
	後期高齢者医療事業	6,763万円	16万円
	簡易水道事業	2億5,064万円	598万円
	下水道事業	2億55万円	37万円
合計	62億9,964万円	60億7,171万円	2億2,793万円

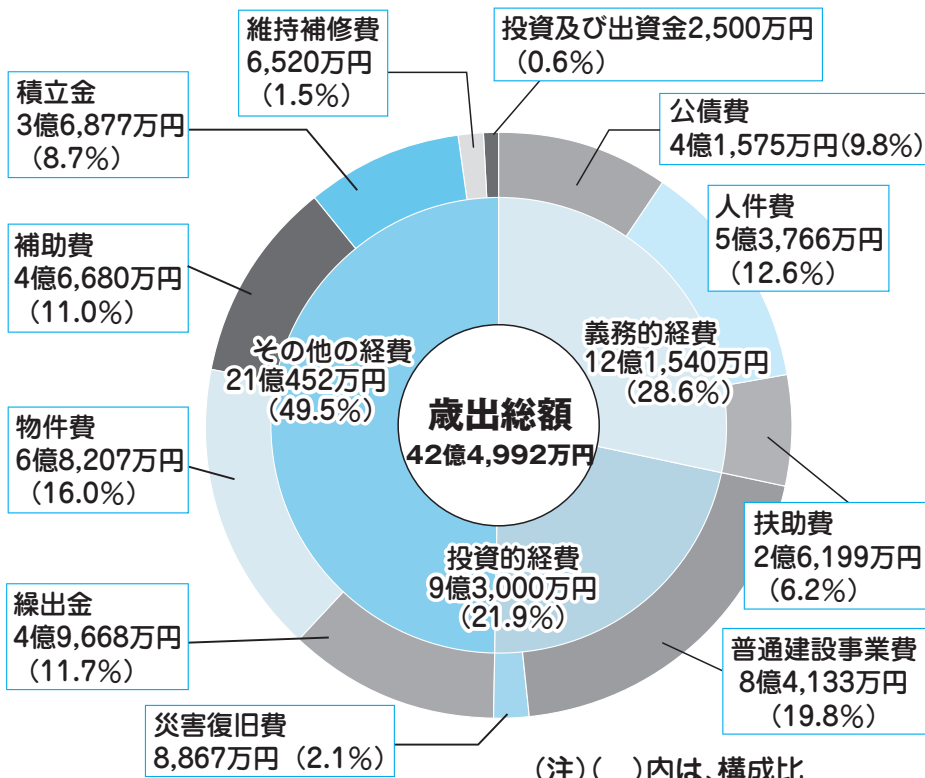
町独自の政策で行われた主な事業

町民バス・通学バス運行事業	2,238 万円
交通弱者、学生の足である路線バスの運行を行いました。	
集落コミュニティ振興交付金	1,007 万円
各集落へ振興交付金を交付し、集落の活性化や景観整備を図ることができました。	
消防団員活動服更新事業	157 万円
消防団員の活動服を更新し、夜間活動の安全性を高めることができました。	
保育料軽減事業	4,013 万円
子育て支援充実のために保育料を半額にしました。	
出産・結婚祝金支給事業	290 万円
過疎・少子化対策として出産・結婚を祝福しました。	
AED設置事業	198 万円
不特定多数の人が集まる公共施設に設置更新することで、心停止の救命対策が図られました。	
地域医療連携ネットワーク活用推進事業	177 万円
町内の医療、介護、保健の情報共有を図り、IT を活用した多職種協働の高齢者等支援チームをつなげるシステムを活用することにより、地域住民全体の自助、共助、公助に対応した連携体制を構築することができました。	
あなん食彩館設建設事業	1 億 8,766 万円
農産物の有利販売や都市と農村との交流拠点施設の整備が図られました。	
ふるさと納税(農業支援)特産品取扱業務委託	1 億 5,946 万円
ふるさと納税制度を活用した農業振興が図られました。	
観光施設整備事業	2,490 万円
観光施設利用者の利便性が図られました。	
道路新設改良事業	2 億 3,715 万円
町内道路の改良・舗装工事を行いました。	
住宅建設事業	1 億 1,499 万円
定住を促進する住宅の整備が図られました。	
マイホーム建築資金補助事業	1,212 万円
住宅の新改築に補助を行い定住促進を進めました。	
奨学金貸与事業	3,371 万円
高校生、大学生への奨学金を貸与し、子育て支援策を充実させました。	

一般会計の歳出の内訳

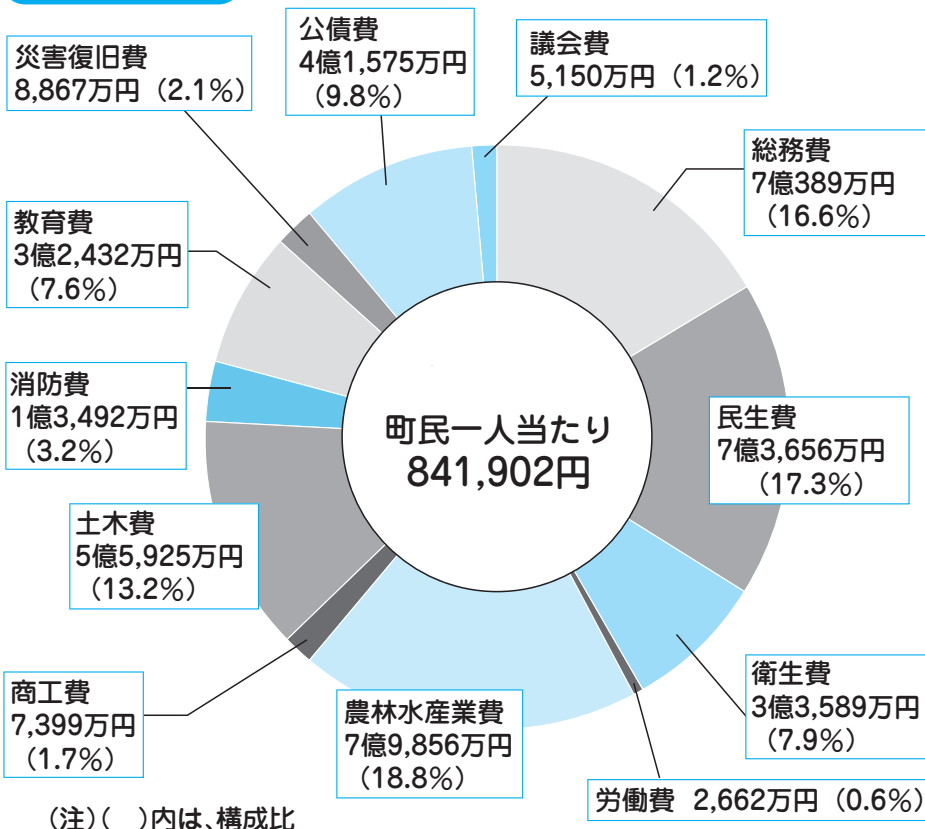
性質別内訳

総額 42億4,992万円



- ◎ 義務的経費とは…
給料や借入金の返済など、支出が義務付けられており、極めて硬直性が強い経費
- ◎ 投資的経費とは…
道路や施設の建設など、社会資本の整備に支出する経費

目的別内訳



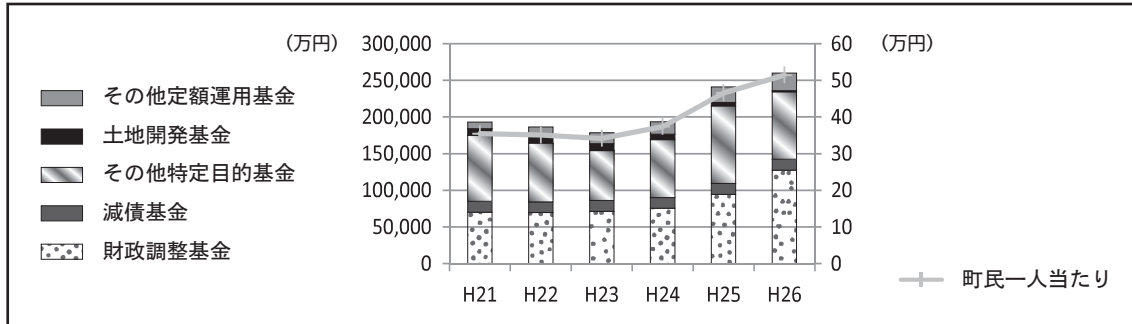
町の貯金(基金)と借金(地方債)残高の推移

町の貯金(基金)は、24年度までは18億～19億円を推移していましたが、平成25年度からは農業支援を目的としたふるさと納税の影響で約26億円となり前年度に比べ2億円近く増えました。

借金(地方債)は、年々順調に減っており、平成19年度にピークだった87億円に比べると平成26年度は約50億円となっており、8年間で37億円減少しています。

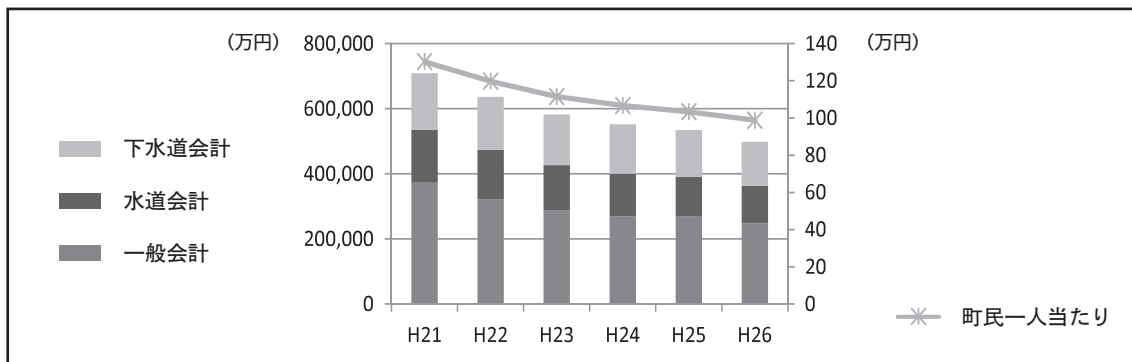
○貯金(基金)残高

地方債償還や施設を維持するためなどに、さまざまな基金を積み立てています。



○借金(地方債)残高

町が事業を行う上で不足する財源を調達するために、国の資金や民間資金を借り入れています。



阿南町の財政健全化判断比率を公表します

財政健全化判断比率の算定を行いました。阿南町では国が定める早期健全化基準を下回る比率となっており、おおむね健全な運営といえます。

項 目	説 明	阿南町の比率		国の早期健全化基準
		H26	H25	
実質赤字比率	一般会計が赤字のとき、赤字額の標準財政規模に対する割合	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	一般会計及び特別会計の合算で赤字のとき、赤字額の標準財政規模に対する割合	—	—	20.0%
実質公債費比率	地方債の元利償還金へ、町が負担する一般財源の標準財政規模に対する割合(3ヶ年の平均)	4.1%	5.4%	25.0%
将来負担比率	規模に対する割合	—	—	350.0%

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字でないため「—」で表示。

※将来負担比率についてはマイナスのため「—」で表示。

※標準財政規模は「標準税収入額等+普通交付税+臨時財政対策債発行可能額」で計算されます。

※公営企業会計(簡易水道、下水道)資金不足比率は赤字でなく数値がないため表にしてありません。